

10 文化観光スポーツ部

目 次

(1) サステナブルツーリズム推進事業（新規）	357
(2) おきなわユニバーサルツーリズム推進事業（継続）	358
(3) 沖縄観光グローバル事業（継続）	359
(4) 国内需要安定化事業（継続）	364
(5) 観光2次交通利用促進事業（新規）	367
(6) 戦略的クルーズ観光推進事業（継続）	368
(7) B e . O k i n a w a 多言語コンタクトセンター運営事業（継続）	369
(8) カップルアニバーサリーツーリズム事業（継続）	371
(9) 教育旅行推進強化事業（継続）	373
(10) G o T o おきなわキャンペーン事業（継続）	375
(11) 観光2次交通結節点機能強化事業（新規）	377
(12) 沖縄観光コンテンツ開発支援事業（継続）	379
(13) 沖縄ワーケーション促進事業（継続）	380
(14) 観光危機管理体制構築支援事業（継続）	382
(15) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（継続）	384
(16) しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業（新規）	385
(17) 観光人材確保支援事業（新規）	387
(18) 観光人材育成・確保促進事業（継続）	389
(19) マリンレジャー事故防止調査対策事業（新規）	390
(20) マリントウン大型M I C E 施設整備・エリア形成事業（新規）	392
(21) 戦略的M I C E 誘致促進事業（継続）	393
(22) M I C E 受入体制強化等事業（新規）	395
(23) スポーツツーリズム戦略推進事業（継続）	397
(24) サッカースタジアム整備等推進事業（新規）	400
(25) F I B A バスケットボールワールドカップ 2023 の開催支援（新規）	401
(26) スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業（継続）	403
(27) 競技力維持・向上対策事業（継続）	404
(28) 社会体育活動の推進（継続）	406
(29) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）	409
(30) おきなわ国際協力人材育成事業（継続）	411
(31) 次世代ウチナーネットワーク育成事業（継続）	413
(32) ウチナーネットワーク次世代継承キャラバン事業（新規）	416
(33) 多文化共生推進調査事業（継続）	417
(34) 旅行者専用発熱等相談支援事業（継続）	418
(35) 離島観光活性化促進事業（継続）	419

(36)	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（継続）	421
(37)	しまくとぅばアーカイブ事業（継続）	422
(38)	しまくとぅば普及継承事業（継続）	423
(39)	沖縄県文化振興事業等推進費（継続）	425
(40)	沖縄食文化保存普及継承事業（継続）	426
(41)	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業（継続）	427
(42)	沖縄文化芸術の創造発信支援事業（継続）	428
(43)	琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）	429
(44)	沖縄県空手振興事業（継続）	430
(45)	沖縄空手世界大会開催事業（継続）	433
(46)	沖縄空手ユネスコ登録推進事業（継続）	434
(47)	空手ツーリズム受入体制構築事業（新規）	435

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：サステナブルツーリズム推進事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

沖縄独自の歴史や文化、地域資源を利活用した観光を推進するとともに、自然環境の保全、地域の文化・生活環境を尊重し、旅行者と地域住民が沖縄観光ブランドの価値を共有する持続可能で質の高い観光に取り組むための経費

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サステナブルツーリズム推進事業	11,984	1 サステナブルツーリズム推進事業 ・サステナブルツーリズムの実態把握と課題整理を行うため、県内の観光関連事業者や観光協会、市町村等にアンケート調査を行う。 ・また、有識者を招へいし沖縄サステナブルツーリズムに関する課題整理等の議論を図る。	11,984	1 サステナブルツーリズム推進事業 ・サステナブルツーリズムの実態把握と課題整理を行うため、県内の観光関連事業者や観光協会、市町村等にアンケート調査を行った。 ・また、有識者を招へいし沖縄サステナブルツーリズムに関する課題整理等の議論を図った。	最終予算額 11,984 執行率 100%

3 事業の効果/課題

(1) サステナブルツーリズム推進事業

効果： 沖縄観光における諸問題及びその課題解決に向けた取組を含むサステナブルツーリズムに係る実態調査を行い、沖縄ならではのサステナブルツーリズムの推進に係る課題を把握するとともに、県民・訪問者の共感につなげていくための事例を収集した。

また、有識者等で構成される委員会にて実態調査の内容を整理し、地域の価値や魅力が地域コミュニティ、地域産業、訪問者に共有される沖縄ならではのサステナブルツーリズム推進の方向性を取りまとめた。

課題： サステナブルツーリズム推進に係る観光諸課題を解決するため、観光関連事業者の企業体や観光協会等に総合的な支援を行う。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：おきなわユニバーサルツーリズム推進事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

沖縄を訪れる高齢者、障がい者等の受入体制の充実を図るため、観光事業者向けセミナーの開催や、観光誘客に向け、バリアフリー観光地としての認知度を高める。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ ユニバー サルツー リズム推 進事業	21,891	1 おきなわユニ バーサルツーリ ズム推進事業 ・全ての観光客 が、沖縄を楽しめ るようにきめ細か な受入体制の強化 を図るとともに、 本県のユニバーサ ルツーリズムに関 する情報の発信を 行うことで、観光 誘客を促進する。	21,150	1 おきなわユニ バーサルツーリ ズム推進事業 ・観光関連事業者 を対象としたセミ ナーの実施。 ・観光関連事業者 に対するアドバイザー 派遣。 ・ユニバーサルツ ーリズムのPR (展示会出展、ポ ータルサイトによ る情報発信等)を 実施した。	☆ 最終予算額 21,891 執行率 96.6% 不用額 740

3 事業の効果/課題

(1) おきなわユニバーサルツーリズム推進事業

効果：観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。ハイブリッド開催とすることで、参加する観光事業者の実質的な負担を減らし、多くの事業者の受入環境整備に寄与した。

課題：ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、引き続き、観光関連事業者の受入体制強化を図る。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄観光グローバル事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国際観光地沖縄の基礎的需要の創出を図るため、航空路線の誘致・拡充と連動してターゲットとする海外の各市場において戦略的なプロモーション等を展開する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 グローバル 事業	643,185	1 沖縄観光グ ローバル事業	608,118	1 沖縄観光グ ローバル事業	☆ 最終予算額 643,185 執行率 94.5% 不用額 35,067
	1,800	(1)海外路線誘致活 動強化事業 ・路線誘致のため の航空会社との接 触、交渉、キーパ ーソン招へいの事 業を実施する。	6,878	(1)海外路線誘致活 動強化事業 ・航空商談会に1 回参加、新規就航 や運航開催に係る 航空会社等と連携 した歓迎式典を15 回開催した。	最終予算額 7,080 不用額 202
	12,000	(2)国際チャーター 便包括支援事業 ・路線誘致の第一 歩となるチャター 便の実施に際し ての支援を実施す る。	91	(2)国際チャーター 便包括支援事業 ・支援申請のあつ たチャーター便2 件に対し支援を実 施した。	最終予算額 110 不用額 19
157,099	(3)期便就航促進・ 活性化支援事業 ・新規路線の就航	32,245	(3)定期便就航促進 ・活性化支援事業 ・国際航空路線を	最終予算額 32,457 不用額	

		を促すため、航空会社に対する就航初期の支援を実施する。		応需する県内空港関連事業者の人員不足により国際定期便が年度当初から就航できず、11月に新規就航した航空会社1社に対してのみ、就航初期の支援を実施した。	212
21,600	(4)縄国際航空路線リバイバル事業 ・長期間運休となっている既存路線の運航を再開させる航空会社に対し、復便初期の路線の安定化のために一定期間支援を行う。	0	(4)縄国際航空路線リバイバル事業 ・旺盛なインバウンドの訪日及び沖縄観光需要の追い風を受けて、復便が当初想定よりも順調に進行したことから、本事業による支援は実施しなかった。	最終予算額 0	
324	(5)海外潜在市場活性化事業 ・潜在市場（インド、中東、北欧）において、現地関係機関と連携し、各市場特性を踏まえプロモーション活動を展開し、誘客を図る。	0	(5)海外潜在市場活性化事業 ・国際航空路線の新規就航及び運航再開状況を踏まえ、重点市場及び戦略開拓市場における誘客プロモーションを優先すべく、当該事業の実施を見送った。	最終予算額 0	
58,844	(6)海外新規市場開拓事業 ・戦略開拓市場（タイ、シンガポール、マレーシア等）、新規市場（欧米豪等）において、現地関係機関と連携し、各市	115,582	(6)海外新規市場開拓事業 ・戦略開拓市場（タイ、シンガポール、マレーシア等）、新規市場（欧米豪等）において、現地関係機関と連携し、11か	最終予算額 120,055 不用額 4,473	

		場特性を踏まえたプロモーション活動を展開し、誘客を図る。		所の都市・地域で現地観光プロモーションを実施した。	
49,954	(7)海外重点市場誘致強化事業 ・重点市場（台湾、香港、中国本土、韓国）において、現地関係機関と連携し、各市場特性を踏まえたプロモーション活動を展開し、誘客を図る。	149,477	(7)海外重点市場誘致強化事業 ・重点市場（台湾、香港、中国本土、韓国）において、現地関係機関と連携し、12か所の都市・地域で現地観光プロモーションを実施した。	最終予算額 154,546 不用額 5,069	
41,600	(8)海外コンテンツマーケティング事業 ・多言語によるSNSでの情報発信の他、多言語観光情報サイトの更新及び企業等が活用する静止画、動画情報の更新を行う。	37,622	(8)海外コンテンツマーケティング事業 ・海外向け沖縄観光情報ウェブサイトVisit Okinawa Japanと関連SNSで、英語、中国語繁体字及び簡体字、タイ語による情報発信を実施した。	最終予算額 42,090 不用額 4,468	
15,000	(9)沖縄国際観光イノベーション事業 ・海外市場におけるキックオフプロジェクト及び国際旅客ハブの構築を目指し、航空会社等との連携プロモーションを実施する。	0	(9)沖縄国際観光イノベーション事業 ・国際航空路線の新規就航及び運航再開状況を踏まえ、重点市場及び戦略開拓市場における誘客プロモーションを優先すべく、当該事業の実施を見送った。	最終予算額 0	
96,745	(10)沖縄観光ブラン	96,745	(10)沖縄観光ブラン	最終予算額	

		ド戦略推進事業 ・沖縄観光の国際的なブランドを向上させるため、海外市場に向けて効果的にブランド広告を発信し、沖縄観光ブランドイメージの浸透を図る。		ド戦略推進事業 ・沖縄観光ブランドBe. Okinawaによるブランドイメージの浸透を図るため、動画を10本制作し、ウェブサイトやSNS等を活用したオンライン広告配信により、欧米豪等を中心に沖縄の認知度向上に取り組んだ。	96,745 不用額 0
24,519	(11)海外富裕層向けプロモーション事業 ・海外富裕層に特化したプロモーションの実施と富裕層専門のエージェントと県内事業者のマッチング機会の創出を図る。	24,519	(11)海外富裕層向けプロモーション事業 ・フランスの海外富裕層市場商談会に出展し、県内事業者とともに新規開拓市場の富裕層旅行会社に対する沖縄の認知度向上とプロモーションを実施した。 ・国内外の海外富裕層市場旅行会社2社と連携し、県内のサービスとコンテンツを活用した商品造成を実施した。	最終予算額 24,519 不用額 0	
156,925	(12)委託事業内における人件費、一般管理費及び消費税	140,759	(12)委託事業内における人件費、一般管理費及び消費税	最終予算額 158,808 不用額 18,049	
6,775	(13)事務費	4,200	(13)事務費	最終予算額 6,775 不用額 2,575	

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄観光グローバル事業

効果： 当該事業による、航空会社の就航支援及び市場別誘客プロモーションの実施により、令和5年度末時点における那覇空港国際航空路線の運航状況は、9路線（台北、高雄、ソウル、釜山、香港、北京、上海、シンガポール、クアラルンプール）、17社運航まで増加した（令和4年度時点では3路線（台北、香港、仁川）、12社運航）。

また、令和5年度の外国人入域観光客数は126万3500人であり、令和4年度の20万100人から100万人以上増加した。

課題： 国際航空路線数については、新型コロナウイルス感染拡大前の15路線までいまだ回復の途上であり、引き続き関係機関と連携して、同水準の路線回復に取り組む。

また、外国人入域観光客の沖縄観光需要を喚起し取り込みを図るため、各市場で戦略的な観光プロモーションを実施し、国内外の国際空港からの経路便を活用した欧米等の長期滞在型リゾート需要の獲得や観光客の滞在日数の延伸に向けた取組を行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：国内需要安定化事業（継続）

事業期間：平成 24 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内需要の安定的な確保を図るため、新規需要の開拓や航空路線の拡充、ブランドイメージ浸透等を促すためのプロモーションを行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和 5 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
国内需要 安定化事 業	322,434	1 国内需要安定 化事業	316,980	1 国内需要安定 化事業	☆ 最終予算額 322,434 執行率 98.3% 不用額 5,454
	198,397	(1)国内需要安定化 事業 ・Webサイトや SNS等の各メデ ィアを活用したメ ディアプロモーシ ョンを実施する。 ・航空会社や空港 等とのタイアップ プロモーションを 実施する。 ・沖縄観光関連の テレビ番組等メデ ィア招へいを実施 する。 ・沖縄関連イベン トでイベントプロ モーションを実施 する。	194,422	(1)国内需要安定化 事業 ・観光情報サイト 「おきなわ物語」 等を活用した、メ ディアプロモーシ ョンを実施した。 ・就航地を中心と した航空会社や空 港等とのタイアップ プロモーション を実施した。 ・沖縄観光の情報 を取り上げたテレ ビ番組等メディア 招へいを実施し た。 ・県外で開催され た沖縄関連イベン トでイベントプロ モーションを実施	最終予算額 198,397 不用額 3,975

		<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄観光の情報発信のための販促ツールを作成する。 ・奄美・沖縄世界自然遺産を活用したプロモーションを実施する。 ・効果的な情報発信のためにWeb更新・強化を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄観光の情報発信のための販促ツールとして観光総合ガイドブック等を作成した。 ・奄美・沖縄世界自然遺産を活用したプロモーションを実施した。 ・旬の観光トピックを活用した情報発信を行うため、「おきなわ物語」の随時更新・記事発信を実施した。 	
	104,350	(2)国内ブランド戦略事業 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」の周知を図るため、各種プロモーションを実施する。 	104,350	(2)国内ブランド戦略事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内向けブランドイメージ周知の素材を作成・発信した。 	最終予算額 104,350 不用額 0
	16,295	(3)国内富裕層向けプロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内富裕層市場における沖縄の認知度向上と誘客に繋げるためのプロモーションを実施する。 	16,295	(3)国内富裕層向けプロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内富裕層市場に向けたプロモーションを実施した。 	最終予算額 16,295 不用額 0
	3,392	(4)事務費等	1,913	(4)事務費等	最終予算額 3,392 不用額 1,479

3 事業の効果/課題

(1) 国内需要安定化事業

効果： 新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことに伴い、積極的に旅行需要喚起策や各種プロモーションを実施した。その結果、旅客

数が大幅に増加し、令和5年度の入域観光客数は835万2,600人、国内客は726万9,100人と過去最高となった。

課題： 入域観光客数の伸びが好調であることから、更なるリピーター創出や滞在日数の延伸に資するプロモーションに取り組み、観光消費額の向上につなげる必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光2次交通利用促進事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光客の2次交通の利用促進のため、繁忙期において観光2次交通の利用促進を図るため、市町村や観光事業者等が行う2次交通の確保に要する経費に対し補助する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光2次 交通利用 促進事業	30,175	1 観光2次交通 利用促進事業 ・市町村、旅行事 業者、交通事業者 等が行うバス等の 運行に対し、補助 金を交付する。	1,441	1 観光2次交通 利用促進事業 ・那覇市内（波の 上ビーチ・首里城 等）を周遊するシ ャトルバスの運行 に対して補助を行 った。	最終予算額 1,530 執行率 94.2% 不用額 89

3 事業の効果/課題

(1) 観光2次交通利用促進事業

効果： 補助事業を通じて、315人の観光客がシャトルバスを使って観光地を周遊することができ、公共交通の利用促進に繋がった。

課題： バス事業者の乗務員不足が顕著となっていることから、団体旅行のピーク期（10月以降）に配慮した補助事業の実施が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：戦略的クルーズ観光推進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

クルーズ船の誘致及び受入体制の強化を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦略的クルーズ観光推進事業	50,510	1 戦略的クルーズ観光推進事業 ・展示会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、地域の受入体制強化等を通して、付加価値の高いクルーズの寄港の寄港、周遊・発着クルーズを戦略的に誘致する。	49,774	1 戦略的クルーズ観光推進事業 ・展示会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、地域の受入体制強化等を通して、付加価値の高いクルーズの寄港の寄港、周遊・発着クルーズを戦略的に誘致するため施策を行った。	☆ 最終予算額 50,510 執行率 98.5% 不用額 736

3 事業の効果/課題

(1) 戦略的クルーズ観光推進事業

効果： 令和5年3月に、日本における外国籍による国際クルーズ船の受入が再開されたことを受け、徐々にクルーズ船の寄港が再開されており、令和5年(暦年)の寄港実績は145回、海路客数は23万2,900人となっている。

課題： クルーズ船の寄港が段階的に回復しているが、クルーズ下船時に乗客・乗員のバス、タクシー待ちで行列ができるなど二次交通が課題となっている。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業（継続）

事業期間：平成 24 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

外国人観光客の利便性向上と、域内周遊を促進させ、観光消費の向上を図る。
（外国語コンタクトセンター運営に係る経費）

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和 5 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業	40,500	<p>1 Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャットボットを活用し、台風や災害時に、来沖中の外国人観光客に向け、注意喚起や避難情報を、リアルタイムに発信する機能を構築する。 ・多言語コンタクトセンターの利用促進に向け、広報用のチラシとカードを作成し、観光案内所へ設置するとともに観光業界へ配布する。 ・県ホームページやSNS等を通じた周知活動に加えて観光団体との会議等で紹介を行う。 	39,795	<p>1 Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャットボットを活用し、台風や災害時に、来沖中の外国人観光客に向け、注意喚起や避難情報を、リアルタイムに発信する機能を構築した。 ・多言語コンタクトセンターの利用促進に向け、広報用のチラシとカードを作成し、観光案内所へ設置するとともに観光業界へ配布した。 ・県ホームページやSNS等を通じた周知活動に加えて観光団体との会議等で紹介を行った。 	<p>☆ 最終予算額 40,500 執行率 98.3% 不用額 705</p>

3 事業の効果/課題

(1) Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業

効果： 外国人観光客が安全・安心に沖縄旅行ができる環境をサポートするために、観光情報の提供、県内事業者との通訳や台風災害時の情報発信を行い外国人観光客の満足度向上を図った。利用満足度は、87%に達し、成果目標を超えることができた。

課題： 同センターにおいては、人材確保が課題となっており、チャットボット機能の対話ログを増やすとともに、自動応答機能の精度向上を図り、業務の省人化につなげていく。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：カップルアニバーサリーツーリズム事業（継続）

事業期間：平成28年度～令和6年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

カップルアニバーサリー（プロポーズ、リゾートウェディング、ハネムーン、バウリニューアル）を沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に向けたプロモーション等を実施し、挙式組数の増加、観光消費額の向上を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
カップル アニバー サリーツ ーリズム 事業	35,550	1 カップルアニ バーサリーツ ーリズム事業 ・沖縄カップルア ニバーサリーブラ ンディングイメ ージの発信 ・国内外に向けた 誘客プロモーションの実施 ・受入体制強化に 向けた取組の実施	32,486	1 カップルアニ バーサリーツ ーリズム事業 ・プロポーズ、リ ゾートウェディン グ、ハネムーン、 バウ・リニューア ルのブランドイメ ージ（静止画）の 制作及び発信を行 った。 ・国内2か所（横 浜、大阪）にてウ ェディングフェア を実施。国外にお いては、台湾、香 港においてフェア の開催及び出展を 実施した。 ・受入体制強化及 び商品造成を促進 するための連絡会 並びに受入事業者 のスキルアップを 目的とした研修等 を本島、宮古、八 重山で実施。	☆ 最終予算額 35,550 執行率 91.4% 不用額 3,064

3 事業の効果/課題

(1) カップルアニバーサリーツアーリズム事業

効果： 沖縄でカップルアニバーサリーを実施することを推進し、観光消費額の向上を図るとともに、カップルアニバーサリー前後の観光による滞在日数の延伸を図る取組を行った。

課題： 国内市場において、少子化や経済的な理由から結婚式をしない層、結婚式に意味を見出せない「ナシ婚」層が一定程度いることから、カップルアニバーサリーに特化したブランディング強化を実施し、沖縄がカップルで訪れる特別な場所としてのイメージ定着を図るとともに、観光地としての質の向上を図っていく必要がある。

また、回復傾向にある海外市場へのプロモーションを強化し、更なる誘客促進に向けた取組を実施していく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：教育旅行推進強化事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和6年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内修学旅行市場の変化に対応し、国内修学旅行を安定的に確保するための事業を実施するとともに、海外からの修学旅行誘致を図るための取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初予算額	事業内容	決算額	事業内容	
教育旅行推進強化事業	102,590	1 教育旅行推進強化事業	100,277	1 教育旅行推進強化事業	☆ 最終予算額 102,590 執行率 97.7% 不用額 2,313
	23,626	(1) 沖縄修学旅行プロモーション ・沖縄修学旅行の魅力、学習効果等について情報を発信	22,936	(1) 沖縄修学旅行プロモーション ・修学旅行相談会等の実施（東京、大阪、茨城等で計8回開催） ・修学旅行関係者向けモニターツアーの実施（計2回開催）	最終予算額 23,110 不用額 174
	16,314	(2) 事前・事後学習支援 ・沖縄への修学旅行実施校の要望に応じ、事前・事後学習支援を実施	16,830	(2) 事前・事後学習支援 ・沖縄への修学旅行を実施する学校のうち、事前・事後学習の支援を希望する学校に対し、アドバイザー派遣等を実施（アドバイザー派遣件数：148件）	最終予算額 16,830 不用額 0
	1,493	(3) 修学旅行模擬体験提供 ・沖縄修学旅行未実施の学校に対し	1,110	(3) 修学旅行模擬体験提供 ・沖縄修学旅行未実施校に対しモニ	最終予算額 1,416 不用額 306

		沖縄修学旅行の模擬体験を提供		ツアーを実施 (実施件数：6件、参加人数：15名)	
5,982	(4) 沖縄修学旅行商品造成支援 ・商品造成の支援とビジネスマッチングの機会を提供	5,616	(4) 沖縄修学旅行商品造成支援 ・県外教育旅行関係者が求めている修学旅行商品のニーズ及び県内受入事業者の修学旅行提供商品に関する実態調査を実施	最終予算額 5,982 不用額 366	
709	(5) 沖縄修学旅行推進協議会の開催 ・沖縄修学旅行の誘致促進に向けた効果的なプロモーションと受入体制の整備に向けて、関係者が課題の共有と解決策を協議する場を提供	786	(5) 沖縄修学旅行推進協議会の開催 ・協議会及び5つの分科会(宿泊機能、商品造成PR、教育旅行民泊、平和学習、輸送機能)において課題等の共有及び協議を実施(協議会1回、各分科会2～3回開催)	最終予算額 786 不用額 0	
4,429	(6) 海外教育旅行誘致活動 ・海外向けプロモーションやセミナー等を実施	4,098	(6) 海外教育旅行誘致活動 ・オンラインによる商談会や展示会等に参加(1回) ・台湾教育旅行関係者及び教育関係社向け招へい事業を実施(2件)	最終予算額 4,428 不用額 330	
50,037	(7) 事務費	48,901	(7) 事務費	最終予算額 50,038 不用額 1,137	

3 事業の効果/課題

(1) 教育旅行推進強化事業

効果： 少子化の進行による生徒数の減少や、新幹線の新規開業による国内他地域との競合等、外部環境が厳しさを増す中、プロモーションや課題解決等に対する取組を継続することが、沖縄修学旅行の安定的かつ長期的な需要確保に効果があると考えている。

課題： 事前・事後学習提供プログラムの拡充や模擬体験提供を通して、海外や国内他地域からの方面変更需要に対応し、新規需要の獲得を図る。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：G o T o おきなわキャンペーン事業（継続）

事業期間：令和4年度～令和5年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から落ち着いた後の観光需要を喚起するため、県内旅行の割引事業を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
G o T o おきなわ キャンペ ーン事業	21,348,664 (5,208,652)	1 G o T o お きなわキャン ペーン事業 <実施期間> 国の定める期間 <キャンペーン 概要> 旅行割引率：20% 割引上限額 5,000円/人泊 地域クーポン上限 2,000円/人泊 (1)宿泊・旅行サ ービスに対する 割引による観光 需要の喚起を図 る。 (2)地域クーポン	21,313,749 (5,208,652)	1 G o T o お きなわキャン ペーン事業 (おきなわ彩 発見キャンペ ーンN E X T) <実施期間> R 5. 4. 1-R 5. 11. 30 (R 5. 4. 29 から R 5. 5. 7 は対象 外) <キャンペーン概 要> 旅行割引率：20% 割引上限額 5,000円/人泊 地域クーポン上限 2,000円/人泊 (1)宿泊・旅行サ ービスに対する 割引による観光 需要の喚起を図 った。 (2)地域クーポン	最終予算額 21,348,664 執行率 99.8% 不用額 34,915

		の発行による地域経済の活性化を図る。		の発行による地域経済の活性化を図った。	
		(3)キャンペーン実施・運営等		(3)キャンペーン実施・運営等	

3 事業の効果/課題

(1) G o T o おきなわキャンペーン事業

効果： 「おきなわ彩発見キャンペーンNEXT」を実施した結果、全国の旅行需要喚起につながり、令和5年度の国内入域観光客数は、726万人を超えて過去最高となった。

○令和5年度全体

・利用人泊数：531.4万人

・割引適用額：141億円（旅行割引：約87億円、
地域クーポン：約54億円）

課題： 地域クーポンの活用等により、事業効果は発揮されたところであるが、事業終了後の反動などが懸念される。他の事業により、消費単価の拡大や、宿泊日数の延伸など、観光収入増大に寄与するプロモーションを効果的に行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光2次交通結節点機能強化事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光2次交通結節点や、主要ホテルやレンタカー事業所を周遊する小型バス等を運行し、レンタカー貸渡場所の分散化を図る取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光2次 交通結節 点機能強 化事業	53,165	1 観光2次交通 結節点機能強化 事業 ・観光2次交通結 節点の設置に向け た事前調査を行 う。 ・那覇空港におけ るレンタカー等の 不適切な受渡し及 び交通渋滞対策に 係る交通誘導警備 を実施する。	20,011	1 観光2次交通 結節点機能強化 事業 ・観光2次交通結 節点の設置に向け た事前調査（車両 の同線・モデルル ート、歩行者への 影響、結節点利用 方法、観光客への アンケート等）を 行った。 ・大阪航空局那覇 空港事務所及び那 覇空港ビルデイン グと連携し、那覇 空港3階に警備員 を配置し、レンタ カー等の不適切な 受渡しや交通渋滞 対策に係る警備業 務を実施した。	最終予算額 20,029 執行率 99.9% 不用額 18

3 事業の効果/課題

(1) 観光2次交通結節点機能強化事業

効果： 観光2次交通結節点の設置に向けた事前調査等を実施したことにより、令和6年度から実施する北谷町美浜駐車場への観光2次交通結節点の設置（実証事業）に繋がった。

大阪航空局那覇空港事務所及び那覇空港ビルディング等の関係機関と協力・連携して那覇空港3階ダブルデッキでのレンタカー等の不適切な

受渡し及び交通渋滞対策に取り組むことができた。

課題： 観光２次交通結節点の設置に向けては、交通広場を設置するだけでなく、観光客が多様な交通手段を利用できるよう、結節点を基点とするバスの運行、レンタカー営業所等との接続等、結節点の機能強化に向けたその他の取組と連携して進めていく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄観光コンテンツ開発支援事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内外の観光誘客等の拡大を図るため、沖縄の観光資源を活用した観光商品（高付加価値型観光）の開発への取組を支援する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 コンテンツ開発支 援事業	100,037	1 沖縄観光コン 텐츠開発支援 事業 ・沖縄の観光資源 （自然、文化、歴 史等）を活用した 多彩で質の高い観 光コンテンツ開発 に取り組む民間事 業者等に対し、支 援を行う。	83,520	1 沖縄観光コン 텐츠開発支援 事業 ・沖縄の観光資源 （自然、文化、歴 史等）を活用した 多彩で質の高い観 光コンテンツ開発 に取り組む民間事 業者等に対し、支 援を行った。 （支援件数：11 件）	☆ 最終予算額 100,037 執行率 83.5% 不用額 16,517

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄観光コンテンツ開発支援事業

効果： 沖縄の地域資源を活用した多彩で質の高い観光コンテンツ開発を支援したことにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸に寄与した。

課題： 世界から選ばれる持続可能な観光地形成に向けて、継続して沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムを推進する必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄ワーケーション促進事業（継続）

事業期間：令和2年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図るため、県外企業等に対し、沖縄でのワーケーションを促進するプロモーションやモニターツアー等を行い、沖縄でのワーケーションの導入・実施につなげる。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄ワー ケーション促 進事業	55,178		54,014		☆ 最終予算額 55,178 執行率 97.9% 不用額 1,164
	32,307	1 沖縄ワーケー ション促進事業 ・沖縄でワーケー ションを体験して もらうため、関係 者の招へいツアー をする。 ・沖縄でのワーケー ションの魅力を 発信する。 ・イベント出展等 する。	32,307	1 沖縄ワーケー ション促進事業 ・沖縄でワーケー ションを体験して もらうため、関係 者の招へいツアー を実施した。 ・沖縄でのワーケー ションの魅力を 発信した。 ・ツーリズムEX POジャパン、R e s o r T e c h E X P O に参 加	最終予算額 32,307 不要額 0
	22,019	2 沖縄県ワーケ ーション連携促 進事業 ・沖縄リゾートワ	21,113	2 沖縄県ワーケ ーション連携促 進事業 ・沖縄リゾートワ	最終予算額 22,019 不用額 906

		ワーケーション推進協議会の活動を支援する。		ワーケーション推進協議会の活動を支援した。	
	852	3 事務費等	594	3 事務費等	最終予算額 852 不用額 258

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄ワーケーション促進事業

効果： ビジネスリーダー及び「Well-being」に興味がある県外企業に対し、プロモーションを実施することで、沖縄でのワーケーションの認知度向上に繋がった。

課題： 他地域との差別化を図るため、沖縄の特色である世界自然遺産等を活用したワーケーションを発信するなど、沖縄独自の過ごし方をPRする必要がある。

(2) 沖縄ワーケーション連携促進事業

効果： 沖縄におけるワーケーションの情報集約・発信等を一元的に行うため、県内におけるワーケーションができるホテルやコワーキング施設などを情報発信するWebサイトを作成し、それぞれの施設の特色などを詳しく掲載する特集記事を掲載した。

課題： 引き続き、県内におけるワーケーション施設等の情報集約・発信等を行うとともに、協議会として誘客や受入等ができるような体制を構築するほか、現在のワーケーションのニーズを的確に把握し、効果的な発信ができるようにする必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光危機管理体制構築支援事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光地としての安心安全を確保するため関係機関と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光危機 管理体制 構築支援 事業	25,859	1 観光危機管理 体制構築支援事 業 ・観光危機管理計 画の周知 ・市町村の観光危 機管理計画策定支 援を実施する。 ・災害等危機時に おける、計画の検 証、関係機関相互 の連携強化等を図 ることを目的に、 観光危機管理の図 上訓練を実施す る。	25,783	1 観光危機管理 体制構築支援事 業 ・観光危機管理計 画の周知のため、 ワークショップ型 の勉強会を計4回 開催し、12市町 村、11のホテル等 観光関連事業者が 参加した。 ・市町村の観光危 機管理計画策定支 援のため、5市町 村へのヒアリング をオンラインで実 施し、課題を整理 した。 ・災害等危機時に おける、計画の検 証、関係機関相互 の連携強化等を図 ることを目的に、 計3回の事前勉強 会を実施した。ま た、観光危機管理 図上訓練につい て、帰宅支援対策 を盛り込み実施、	☆ 最終予算額 25,859 執行率 99.7% 不用額 76

		<p>・海外向けの情報発信文等の翻訳及び情報発信</p>	<p>34 団体、114 名が参加した。</p> <p>・海外向けの情報発信文等の翻訳及び情報発信として、国際線の再開時に、体調不良時の相談フロー図を多言語で制作し、WEB等で情報発信を行った。</p>	
--	--	------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

3 事業の効果/課題

(1) 観光危機管理体制構築支援事業

効果： 観光危機管理計画に関する勉強会や市町村向けの策定支援等により令和5年度末計画策定市町村数は、18市町村となっていることから、着実に増加している状況である。

課題： 観光危機管理計画を策定している市町村が18市町村と、半分以下となっていることから、引き続き、策定に向けた支援を行うとともに、セミナーや図上訓練を実施することで、県全体の観光危機に対する意識啓発に努めていく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させるため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築するとともに、観光客の沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるための文化体験等の取組を行い、沖縄観光の誘客を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	26,050	1 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業 ・旅行商品造成プログラムモデルの構築を行う。 ・文化体験プログラムモデルの構築と、公演の広報活動などを行う。 ・マグネットコンテンツ育成事業として、公募採択された団体へ補助金を交付する。 ・県外における沖縄芸能の上演プロモーション活動として国立劇場おきなわへ補助金を交付する。	25,340	1 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業 ・旅行商品造成プログラムモデルの構築を行った。 ・文化体験プログラムモデルの構築と、公演の広報活動などを行った。 ・マグネットコンテンツ育成事業として補助金2,500千円を交付した。 ・県外における沖縄芸能の上演プロモーション活動として国立劇場おきなわへ補助金4,056千円交付した。	☆ 最終予算額 26,050 執行率 97.2% 不用額 710

3 事業の効果/課題

(1) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

効果： 沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューの確立として、商品造成プログラム2件、文化体験プログラムモデル5団体を登録し、観光施設等への派遣を実施。

課題： 文化資源を活用した観光メニューを確立させるには、長期の取組が必要である。観光客の沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるため、引き続き、支援を行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業（新規）

事業期間：令和5年度～令和7年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

文化資源を活用した観光コンテンツ創出や文化観光の推進に向けた取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業	46,864	1 しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業 ・ 県内各地域の伝統芸能等の実態調査及び課題解決にむけた支援をする。 ・ 沖縄県伝統芸能祭の実施。	38,272	1 しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業 ・ 地域の芸能団他（296 団体）にアンケート調査を実施し、ハンズオン支援希望団体（57 団体）のカルテを作成し、文化資源の掘り起こしと活動実態及び課題を把握した。 ・ 「沖縄県伝統芸能祭」を開催し、14 の芸能団体に、出演してもらい、合計 565 人の観客に地域の伝統文化を披露することができた。（本島 2 回、離島 1 回開催）	最終予算額 38,272 執行率 100%

3 事業の効果/課題

(1) しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業

効果： 地域の文化芸能団体 57 団体のカルテを作成し、文化資源の掘り起こしと活動実態及び課題を把握できた。引き続き、令和6年度以降の各団

体の支援につなげる。

また、14 の芸能団体に「沖縄県伝統芸能祭」に出演してもらい、文化資源を活用した観光コンテンツ創出や文化観光の推進につなげた。

課題： 「沖縄県伝統芸能祭」3公演の県外来場者は1割程度（61人/565人）であり、県外・国外の観光客の集客が課題となった。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光人材確保支援事業（新規）

事業期間：令和5年度～令和7年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光事業者の生産性向上に資する取組を支援するとともに、観光業界における様々な取組を伝える広報、合同就職説明会、インターンシップ等を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光人材 確保支援 事業	248,994	<p>1 観光人材確保支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の労働環境を改善し、人材の確保・定着を図るため、観光事業者の生産性向上に資する取組を支援することとしている。 ・県内宿泊施設、観光施設等における職場訓練や観光業界に特化した就職説明会の開催を通じて、観光事業者と求職者とのマッチング機会を創出するとともに、観光現場における様々な取組を伝える広報、就職イベントの周知に取り組むこととしている。 	188,315	<p>1 観光人材確保支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動チェックイン機やお掃除ロボットの導入、システム構築など観光事業者の生産性向上に資する取組について、13社、92,394千円交付した。 ・観光事業者と求職者とのマッチングに関して、 <ul style="list-style-type: none"> ①「県内外での合同就職説明会」の参加者275名 ②「職場見学バスツアー」の参加者114名 ③「職場訓練(インターン)」の参加者92名 延べ481名とマッチングを行った。 ・観光現場における様々な取組を伝える広報につい 	<p>最終予算額 192,261 執行率 97.9% 不用額 3,946</p>

				て、観光現場で働く人取材し、Webサイトや新聞紙面、SNS等において業界の魅力を発信した。	
--	--	--	--	-----------------------------------------------	--

3 事業の効果/課題

(1) 観光人材確保支援事業

効果： 合同就職説明会や見学バスツアー、インターンの参加者アンケート調査を行ったところ、全体の約8割が「観光業への就職意欲が高まった」と回答していることから、観光業界に対する魅力の向上に一定程度寄与したものと考えられる。

課題： 観光業界に興味を持ってもらう人材を養成できるよう、将来の沖縄観光を担う子ども達にも魅力を伝えていく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光人材育成・確保促進事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国際観光地としての受入体制を強化するため、国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供する人材を育成・確保する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光人材 育成・確 保促進事 業	62,605	1 観光人材育成 ・確保促進事業 ・観光関連事業者 が共通に抱える課 題に取り組むため 集合型研修等を開 催する（100事業 者）。 ・オンラインセミ ナー動画を配信す る。（20動画） ・学生と企業のマ ッチングイベント を開催する。	61,721	1 観光人材育成 ・確保促進事業 ・観光関連事業者 が共通に抱える課 題に取り組むため 集合型研修等を開 催し158事業者が 参加した。 ・オンラインセミ ナーの動画を10 コンテンツ配信し た。（20動画） ・学生と企業のマ ッチングイベント を開催した（出展 企業21社、来場 者125名）	☆ 最終予算額 62,605 執行率 98.6% 不用額 884

3 事業の効果/課題

(1) 観光人材育成・確保促進事業

効果： 観光関連従事者を対象に39回の研修を実施し、目標値を上回った。
また、観光業界の喫緊の課題である人手不足を解消するため、人材確保に資するセミナーやマッチングイベントを開催した。集合型研修において158事業者が参加しており、観光客が満足する高いサービスを提供できる人材の確保に寄与している。

課題： 観光業界においては、引き続き人手不足の状況にあることから、人材確保に向けた支援を継続して実施していく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：マリンレジャー事故防止調査対策事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

海の安全マップシステムを構築するとともに、観光客や事業者に対し事故情報やマリンレジャーに関する正しい知識等を周知することにより水難事故の未然防止を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
マリンレ ジャー事 故防止調 査対策事 業	30,133	1 マリンレジャー事故防止調査対策事業 ・海の安全啓発ツールを観光関連事業者等に対して設置協力依頼を行い、観光客へ周知啓発を図る。 ・ライフセーバー等による観光客に向けた海の安全講習会を沖縄本島、宮古圏域、八重山圏域で注意喚起を行う。 ・マリンレジャー事業者を対象とした水難事故防止に向けた安全対策に関する意識向上のセミナーを行う。	30,014	1 マリンレジャー事故防止調査対策事業 ・海の安全啓発ツールを観光関連事業者等に対して設置協力依頼を行い、観光客へ周知啓発を図った。 ・ライフセーバー等による観光客に向けた海の安全講習会を沖縄本島、宮古圏域、八重山圏域で28回実施し、約4,400名に注意喚起を行った。 ・マリンレジャー事業者を対象とした水難事故防止に向けた安全対策に関する意識向上のセミナーを行った。	最終予算額 30,133 執行率 99.6% 不用額 119

3 事業の効果/課題

(1) マリンレジャー事故防止調査対策事業

- 効果： 観光客が利用しやすい空港、ホテル、レンタカー等で海的安全啓発ツールの周知啓発をするとともに、海的安全講習会を通じて観光客に注意喚起を行うことで水難事故防止と安全対策の意識啓発に繋がった。
- 課題： 海的安全啓発ツールの周知啓発は県警察、海上保安庁等の関係機関もポスター、リーフレット等の掲示や配布を行っているが、設置箇所に横並びになっていることがあるため、関係機関で協議を行い、同様な情報は集約して閲覧者に配慮した掲示や配布を行う。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

大型MICE施設とマリンタウンMICEエリア全体の周辺環境の整備に向けた取組（実施方針、公募要領、要求水準等のPFI法に基づく手続）を推進する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
マリン タウン大 型MICE 施設整 備・エ リア形 成事業	43,315	1 マリンタウン 大型MICE施 設整備・エ リア形 成事業 ・大型MICE施 設とマリン タウン MICEエ リア全 体の周 辺環境 の整備 に向け た取組 （実施 方針、 公募 要領、 要求 水準 等の PFI 法に 基 づく 手 続） を推 進す る。	42,160	1 マリンタウン 大型MICE施 設整備・エ リア形 成事業 ・大型MICE施 設とマリン タウン MICEエ リア全 体の周 辺環境 の整備 に向け 、実 施方 針に 関 する 条 例の 施 行、 実 施 方 針 及 び 要 求 水 準 書 （案） を公 表し た。	最終 予算 額 43,315 執行 率 97.3% 不用 額 1,155

3 事業の効果/課題

(1) マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業

効果： 令和5年7月に沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業に係る実施方針に関する条例を施行し、同年10月に実施方針を、12月に要求水準書（案）を公表した。

また、上記取組と並行して大型MICEエリア振興に関する協議会及び幹事会を開催した。

課題： 落札者の決定に向けた入札公告に向けての手続を進める必要がある。
また、民間事業者とのサウンディング、関係市町村との連携を進めながら、周辺公共施設等を活用したMICEエリア全体の環境整備、SDGsやデータ・新技術を活用したスマートシティ化など、魅力あるエリア形成の推進に向けて取り組む必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：戦略的MICE誘致促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

回復傾向にある国内外のMICE需要を沖縄へ引き込むための積極的な誘致・プロモーション活動の展開に取り組む。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦略的 MICE 誘致促進 事業	211,023	1 戦略的MICE誘致促進事業 ・国内外のMICE見本市・商談会への参加及びセミナー開催等を通じて、誘致・広報事業を実施する。 ・沖縄県内で開催される国際学会等に対し、支援を実施する。 ・沖縄MICE振興戦略に基づき、産学官の連携体制を強化・拡充し、地域におけるMICE受入体制の充実を図る。	198,304	1 戦略的MICE誘致促進事業 ・国内外のMICEバイヤー向け商談会に参加し(7回)、104件の商談を行った。 ・支援実績は53件であった。 ・沖縄MICEネットワーク(会員数208団体)を運営し、勉強会(2回)、部会(5回)を開催した。	☆ 最終予算額 211,023 執行率 93.9% 不用額 12,719

3 事業の効果/課題

(1) 戦略的MICE誘致促進事業

効果：国内外の商談会参加により、MICE開催地としての沖縄の認知度向上を図ったほか、県独自の商談会を開催し、県内事業者と国内外の旅行者等とのビジネス機会を創出した。

貸切バスやコンベンション開催支援により、沖縄でのMICE開催に繋げることができた。

沖縄MICEネットワークの運営を通じた産学官の連携強化により、受入体制の充実が図られた。

課題： 沖縄でのMICE開催の誘致、主催者・参加者の満足度向上による定着化に繋げるため、継続的に関連事業者の連携強化を図るほか、ビジネス機会の創出等に戦略的に取り組む必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：MICE受入体制強化等事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

全県的なMICE受入体制の強化（MICE専門人材の育成、アドバイザー派遣）、沖縄らしさを活用してMICE参加者の満足度を向上させる開催歓迎支援の充実を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
MICE 受入体制 強化等事 業	43,065	<p>1 MICE受入体制強化等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MICE案件の獲得からオペレーション業務に至るまでのノウハウ及びMICEに関する幅広い見識習得のための講座、セミナーを開催する。 ・多様化する主催者ニーズについて課題を抱えるMICE関連事業者に対し、専門アドバイザーを派遣し、指導、助言を行う。 ・沖縄でのMICE開催に対する歓迎支援として、空港歓迎式や芸能アトラクション等の派遣等を行う。 	40,283	<p>1 MICE受入体制強化等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全8回（オンライン6回、集合型2回）の講座を開催し、参加者は延べ271名であった。 ・5事業者に派遣を行い、派遣回数 は13回であった。 ・支援メニューの提供実績は125件であった。 	<p>最終予算額 43,065 執行率 93.5% 不用額 2,782</p>

3 事業の効果/課題

(1) MICE受入体制強化等事業

効果： 受講後のアンケート結果では参加者の98%がスキルアップ・能力向上の実感を持ったとの回答を得た。

専門アドバイザー派遣事業については、課題解決に向けた取組の指導により、活用した全5事業者から「非常に役立った」、「役立った」との回答を得ることができた。

開催歓迎支援のアンケートでは「大変満足・おおむね満足」という回答が約8割に上り、主催・参加者の満足度向上に貢献した。

課題： コロナ禍後のMICE実績の増加により人手不足が顕著となり、セミナーやアドバイザー派遣の対応が困難な事業者が多いため、事業者が活用しやすい工夫が求められる。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：スポーツツーリズム戦略推進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

沖縄の温暖な気候とスポーツ資源を活用した新たな観光メニューであるスポーツツーリズムの普及・定着を図り、スポーツを通じた観光誘客を促進する各取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ ツーリズム 戦略推 進事業	263,776		251,255		☆ 最終予算額 263,776 執行率 95.3% 不用額 12,521
	24,125	1 スポーツイ ベント支援事業 ・県内で開催する スポーツイベント に対する補助	23,186	1 スポーツイ ベント支援事業 ・県内で開催する スポーツイベント に対する補助4件	最終予算額 24,125 執行率 96.1% 不用額 939
	61,130	2 スポーツ観 光戦略的誘客促 進事業 ・沖縄県へのスポ ーツ旅行に係るプ ロモーション。	65,632	2 スポーツ観 光戦略的誘客促 進事業 ・メディアの活 用、スポーツイ ベントへの出展等 によるプロモショ ン実施件数52件	最終予算額 65,872 執行率 99.6% 不用額 240

	31,938	3 プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業 ・SNS活用プロモーション、空港 ・国際通りへの歓迎バナー掲出	31,852	3 プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業 ・SNS活用プロモーション、空港 ・国際通りへの歓迎バナー掲出を実施	最終予算額 31,938 執行率 99.7% 不用額 86
	30,000	4 スポーツコミッション沖縄体制整備事業 ・スポーツコンベンションの受入に係るワンストップ窓口設置。	30,000	4 スポーツコミッション沖縄体制整備事業 ・スポーツコミッション相談件数 248件	最終予算額 30,000 執行率 100%
	66,835	5 スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・スポーツコンベンションの拡大発展を図るためキーパーソン招へい及び団体合宿実証の実施。	50,838	5 スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・キーパーソン招へい3件、団体合宿実証13件実施。	最終予算額 62,093 執行率 81.9% 不用額 11,255
	49,748	6 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ・サッカーキャンプ誘致、芝生環境の向上による受入体制の強化等。	49,747	6 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ・27クラブチーム（うちJリーグ19クラブ）誘致。 ・受入グラウンドの創出支援1件、グラウンドの巡回支援18施設実施。	最終予算額 49,748 執行率 99.9% 不用額 1

3 事業の効果/課題

(1) スポーツイベント支援事業

効果： スポーツイベントモデル事業への支援を行い、新たなスポーツイベントの創出や定着化を図った。

課題： 創出したイベントの自走化には、資金調達力や運営力を向上させる必要がある。そのため、集客方法や運営などのノウハウを持つ有識者による指導・助言が重要である。

(2) スポーツ観光戦略的誘客促進事業

効果： 沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着を図るため、テレビ、専門誌、イベント、交通機関サイネージ、ウェブ等を活用した多角的なプロモーション等を実施し、本県への観光誘客を促進した。

課題： 沖縄へのスポーツを目的とした観光誘客を増加・定着させるためには、沖縄の優位性・独自性を生かしたPRだけではなく、新たな付加価値構築が必要となってくる。今後はスポーツに係る観光誘客を更に消費単価の拡大につなげる取組を検討する必要がある。

(3) プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業

効果： キャンプ来訪へのPR活動、プロ野球キャンプ情報WEBサイトの構築、キャンプガイドブックの配布を行い、キャンプ来訪者の利便性の向上を図るとともに、新規誘客に向けた広報・宣伝を行った。

受入市町村、球団等関係機関との連携・協力を強化し、キャンプ期間中の魅力的なコンテンツ開発（デジタルスタンプラリー）等の取組を行うことで、プロ野球キャンプを目的とした本県への観光誘客を促進した。

課題： 受入市町村や球団と連携し、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組を引き続き行っていく必要がある。

(4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業

効果： WEBサイトにおける県内スポーツ施設の情報掲載、SNS等を活用した情報発信により、本県のスポーツ環境のPRを実施し、令和5年度における国内外代表チームによる県内合宿件数は25件となった。

課題： コロナ後の合宿需要が増加しており、受入市町村や宿泊施設等の関係機関との連携を強化する必要がある。

(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

効果： スポーツコンベンションの拡大発展に向け、受入希望市町村と連携し、海外誘致活動及びスポーツキーパーソン招へい等に取り組んだ。令和5年度は、3件のスポーツキーパーソンの招へい及び13件の団体合宿実証を実施し、これまでに合宿実績のない新たな競技（相撲等）の合宿誘致に繋がった。

課題： 県内施設や受入体制で抽出された設備劣化等の課題を検証し、継続的な合宿実施に繋げる体制を構築する必要がある。

(6) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業

効果： サッカーキャンプ受入市町村及びキャンプ実施クラブ等との連携を強化し、「スポーツアイランド沖縄」の認知向上及びキャンプ地としての魅力を発信した。

また、県内全域のグラウンド芝環境の向上のため、各地のグラウンドを巡回し、土壌調査や、県内外のグラウンドのクオリティを比較し、芝管理手法の情報共有等を通して、芝管理技術の底上げができた。

課題： サッカーキャンプを目的とした県外観光客数の増加を図るため、県外向けプロモーションやトレーニング及びトレーニングマッチの公開の促進、観戦環境の改善に向けた調整・検討を行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：サッカースタジアム整備等推進事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

Jリーグ規格スタジアムの整備に向け、整備財源や整備手法等について検討を進める。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サッカー スタジア ム整備等 推進事業	21,000	1 サッカースタ ジアム整備等推 進事業 ・国内外からのス ポーツコンベンシ ョンの誘致を図る ため、サッカー スタジアムを整備 するに当たり、施 設の詳細検討や運 営収支の精緻化を 行う。	21,902	1 サッカースタ ジアム整備等推 進事業 ・現整備計画等を 踏まえ、段階整備 の比較、運営収 支改善の検討を行 った上で、PFI手 法の事業スキーム 等の検討調査を行 った。	最終予算額 21,928 執行率 99.9% 不用額 26

3 事業の効果/課題

(1) サッカースタジアム整備等推進事業

効果： 整備費縮減と効率的な運営のための段階整備の検討、有識者ヒアリングや民間事業者サウンディング調査による事業手法、施設規模や配置、賑わい創出等、PFI手法の可能性を含むスタジアム整備に向けた検討を進めた。

課題： 令和5年度の検討結果等を踏まえ、スタジアムの整備着手に向けた法手続のため、関係者との調整を進める必要がある。また、段階整備等に対応するため、平成29年度に策定した「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画」の改定を行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 の開催支援
(新規)

事業期間：令和5年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 の開催に向けた受入体制の構築及び沖縄の子ども達との交流創出等、本大会を活用した地域・経済の振興に関する取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
F I B A バスケット ボール ワールド カップ 2023 推進 事業	224,466	1 F I B Aバス ケットボールワ ールドカップ 2023 推進事業 ・機運醸成、輸送 や渋滞対策、警備 体制の構築、ファ ンゾーンの設置、 子ども達招待等 を実施する。	204,393	1 F I B Aバス ケットボールワ ールドカップ 2023 推進事業 ・公共交通機関、 那覇空港、アメリ カンビレッジ等 でシティドレッシ ングを行い、プロ モーションを実施。 ・那覇市、沖縄 市、宜野湾市、北 谷町の4か所に ファンゾーンを 設置。 ・9,784人の子 ども達を招待し た。	最終予算額 224,466 執行率 91.1% 不用額 20,073

3 事業の効果/課題

(1) F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 推進事業

効果： F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 沖縄グループステージには約12万5千人が訪れ、開催地支援協議会（県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 日本組織委員会等で構成）による機運醸成、輸送や渋滞対策、警備体制の構築、ファンゾーンの設置や離島を含めた1万人の子ども達招待など、様々な取組を計画に基づき実施し、大会の成功に寄与することができた。

課題： F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 の開催により得られたノウハウ、構築されたレガシーを、今後実施する大規模大会などに活用できるかが課題となる。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業
(継続)

事業期間：令和4年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

スポーツアイランド沖縄の形成を推進するため、各種産業の連携による、沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証を支援することで、更なるスポーツコンベンションの推進等を図るとともに、スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル（産業）の創出を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ アイラン ド沖縄形 成に向け た付加価 値構築支 援事業	67,592	1 スポーツアイ ランド沖縄形成 に向けた付加価 値構築支援事業 ・スポーツ関連産 業における新たな ビジネスモデルへ の補助	55,187	1 スポーツアイ ランド沖縄形成 に向けた付加価 値構築支援事業 ・スポーツ関連産 業における新たな ビジネスモデルへ の補助8件	☆ 最終予算額 67,592 執行率 81.6% 不用額 12,405

3 事業の効果/課題

(1) スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業

効果： 県内のスポーツ関連事業等における付加価値の向上を図るビジネスモデル等に対して支援し、新たな商品やサービスを創出した。

課題： ものづくり、ICTや医・科学分野など、スポーツ以外の他の産業やサービスとスポーツ事業者との連携を深めた提案の増加を促進する。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：競技力維持・向上対策事業（継続）

事業期間：平成23年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

競技力を向上させるための事業等への支援や国民体育大会（現：国民スポーツ大会）及び九州ブロック大会への選手派遣等を行い、全国及び国際的に活躍できるトップアスリートを組織的・計画的に育成する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
競技力維持・向上 対策事業	262,899	1 競技力維持・ 向上対策事業費 ・（公財）沖縄県ス ポーツ協会に対 し、以下の取組に ついて委託及び補 助等を行う。	246,451	1 競技力維持・ 向上対策事業費 ・（公財）沖縄県 スポーツ協会へ委 託及び補助等を行 い、以下の実績に つながった。	最終予算額 249,492 執行率 98.7% 不用額 3,041
	155,523	(1)国民体育大会 （現：国民スポー ツ大会）等派遣事 業	139,129	(1)国民体育大会 （現：国民スポー ツ大会）及び九州 ブロック大会への 選手団の派遣を行 った。 ※特別国民体育大 会（派遣：323名冬 季含む。） 第43回九州ブロ ック大会（派遣： 706名）	最終予算額 142,116 不用額 2,987
	22,599	(2)沖縄県民体育大 会事業	20,812	(2)43競技8,828名 参加	最終予算額 20,844 不用額 32
	70,466	(3)競技力向上対策 事業	70,153	(3)競技力向上対策 事業を実施し、県	最終予算額 70,172

				内競技団体に対し強化支援を行った。(支援団体: 41 団体)	不用額 19
	7,221	(4)スポーツ少年団育成事業	8,697	(4)スポーツ少年団育成事業を実施し、研修会や交流大会、養成講習会を開催した。	最終予算額 8,697 不用額 0
	5,701	(5)スポーツ医・科学研究事業	5,624	(5)スポーツ医・科学研究事業を実施し、サポートプログラムに基づく支援等を行った。(サポートプログラム4 団体)	最終予算額 5,624 不用額 0
	1,389	(6)総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度事業	1,440	(6)クラブ訪問等によりクラブ運営に関する助言・指導を実施(30 件)。総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施(参加者 37 名)。	最終予算額 1,443 不用額 3
	0	(7)令和 16 年度国民スポーツ大会に係る会議への旅費	596	(7)令和 16 年度国民スポーツ大会に係る会議への旅費	最終予算額 596 不用額 0

3 事業の効果/課題

(1) 競技力維持・向上対策事業費

効果： 沖縄県スポーツ協会等と連携した県民体育大会の開催や競技力向上等の取組により、本県のスポーツ振興、青少年の健全育成等に貢献した。

課題： 本県の競技力向上などスポーツの振興をより効果的に推進するため、沖縄県スポーツ協会や県内競技団体等との連携の強化が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：社会体育活動の推進（継続）

事業期間：平成10年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

総合型地域スポーツクラブや各スポーツ関係機関と連携し、県民がスポーツで
きる機会の拡大とスポーツへの関心と意欲を高め、社会体育活動の推進を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
社会体育 活動の推 進	7,348	以下の事業を実施。	6,455	以下の事業を実施。	最終予算額 7,348 執行率 87.8% 不用額 893
	1,428	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・スポーツ推進審 議会の運営。 ・生涯スポーツ関 係表彰（文部科学 省生涯スポーツ功 労者・優良団体、 スポーツ推進委員 功労者表彰、沖縄 県生涯スポーツ功 労者、優良団体表 彰、叙勲・褒章・ 地域総合功労表 彰、沖縄県功労者 表彰など）の実 施。	671	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・スポーツ推進審 議会の開催（1 回）。 ・文部科学省生涯 スポーツ功労者表 彰、スポーツ推進 委員功労者表彰 （各1名）。 ・沖縄県生涯スポ ーツ功労者表彰 （1名）。	最終予算額 1,428 執行率 47.0% 不用額 757
	3,568	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ	3,432	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ	最終予算額 3,568 執行率 96.2%

		ン祭の開催。 ・ 県立学校体育施設開放事業の実施。		ン祭の開催（種目 26 種目、参加者数 4,711 人） ・ 県立学校体育施設開放事業の実施（開放校 10 校、利用団体 12 団体・ 9 種目）	不用額 136
2,352	3	広域スポーツセンター事業費 ・ 地域住民が身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行い、総合型地域スポーツクラブに対する助言・指導を行う。 ・ 総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施。 ・ 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度を各クラブや市町村に対して周知活動を行う。	2,352	3 広域スポーツセンター事業費 ・ クラブ訪問等によりクラブ運営に関する助言・指導を実施（30 件）。 ・ 総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施（参加者 37 名）。 ・ 総合型地域スポーツクラブの職員向けにアシスタントマネージャー養成講習会を実施（受講者 10 名）。	最終予算額 2,352 執行率 100%

3 事業の効果/課題

(1) 生涯スポーツ事業費

効果： スポーツ推進審議会を開催し本県におけるスポーツ振興施策に反映させるとともに、生涯スポーツ功労者表彰の実施等を通じ本県の生涯スポーツの促進を図った。

課題： 生涯スポーツの更なる推進を図るためには、他県の優良事例等の情報を収集し、取組の参考としていくことが必要である。

(2) 社会体育活動支援事業費

効果： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を開催し、誰でも気軽にスポーツに親しむ機会を県民に提供することや、県民にとって身近なスポーツ施設である学校体育施設を有効活用することを通じ生涯スポーツを推進した。

課題： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭については、より多くの県民の

参加に繋がる方法を検討すること、学校体育施設開放事業については、開放校及び利用団体数を拡充できるよう、学校及び活動団体の加盟協会等との連携の強化が必要である。

(3) 広域スポーツセンター事業費

効果： 地域住民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行うことを通じ生涯スポーツの推進が図られた。

課題： 総合型地域スポーツクラブの運営については、人材の確保や財政面において課題を抱えているクラブがあるため、引き続きクラブ訪問等を行い助言・指導を推進する。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：ウチナーネットワークの継承・発展、国際協力の推進

重点施策事業名：世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）

事業期間：平成29年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

「世界のウチナーンチュの日」が10月30日と制定されたことを受けて、同日を世界中で沖縄に想いを馳せる象徴的な日として定着させ、ウチナーネットワークの継承・発展を一層効果的に進めるための取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
世界の ウチナー ネットワ ーク強化 推進事業	41,947	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業	39,275	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業	☆ 最終予算額 41,947 執行率 93.6% 不用額 2,672
	12,317	(1)広報 (2)世界のウチナーンチュの日トークイベント	11,522	(1)世界のウチナーンチュの日を中心にWeb、SNS、ラジオ等で広報を実施した。 (2)県内で活躍するタレント等によるトークイベントを実施した。 日時：10月30日 場所：パレット市民劇場 参加者：180名 YouTube再生数：686回（2024年3月18日時点）	最終予算額 12,317 不用額 795 (1)(2)で 一括委託
	10,675	(3)レッツスタディー！ウチナーネッ	10,245	(3)県内小中学校等を中心に移民歴史	最終予算額 10,675

		トワーク事業		出前講座、指導者養成の講座を実施した。 ① 出前講座受講者：1,349名 ② 養成講座受講者：延べ31名	不用額 430
	11,831	(4) 沖縄文化芸能指導者派遣事業	11,831	(4) 4つの海外県人会に芸能指導を実施した。 指導先：①カンポグランデ沖縄県人会②カルガリーオキナワンクラブ③パース沖縄県人会④オハイオ州沖縄友の会	最終予算額 11,831 不用額 0
	7,124	(5) その他、事務費等	5,677	(5) その他、事務費等	最終予算額 7,124 不用額 1,447

3 事業の効果/課題

(1) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業

効果：①「世界のウチナーンチュの日」のイベント実施後アンケートの結果、約95%が世界のウチナーンチュの日に関する関心が高まったと回答した。加えて、Webアクセス数が27,054件となり多くの方に周知できた。

②受講者に対するアンケートの結果、約81%が移民の歴史等に対して理解が深まったと回答した。

③派遣先の県人会におけるアンケートの結果、約98%が沖縄の文化芸能に対する興味・関心が高まったと回答した。

課題：10月30日前後だけでなく、日常的に世界のウチナーンチュと繋がる機会を増やし、世界のウチナーンチュの日の認知度向上に取り組む必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：ウチナーネットワークの継承・発展、国際協力の推進

重点施策事業名：おきなわ国際協力人材育成事業（継続）

事業期間：平成25年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

県内高校生の開発途上国等への派遣や、県内高校等で国際協力について学ぶ出前講座を実施し、国際協力の必要性を学び、グローバルな視点を持った将来の本県の国際協力を担う人材を育成する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ 国際協力 人材育成 事業	28,066	1 おきなわ国際 協力人材育成 事業 (1)国際協カレポ ーター事業 ・県内の高校生を 国際協カレポ ーターとして開 発途上国に派 遣し、国際協 力の現場を視 察させ現地の 若者等との交 流を体験させ る。 (2)国際協カ理 解促進事業 ・県内の学校等 で国際協カ活 動の経験者 による出前講 座を実施し、 国際協カ の必要性等 の理解促進 を図る。	27,920	1 おきなわ国際 協力人材育成 事業 (1)国際協カレポ ーター事業 ・県内の高校生 16名を国際 協カレポ ーターとして タイ王国に 派遣し、国 際協カ の現場視 察や現 地の方 との交 流等 を行 った。 (2)国際協カ理 解促進 事業 ・離島 を含む 22校 で、JICA 海外協 カ隊 経験 者等 による 国際 協カ に 関 する 出 前 講 座 を 実 施 し た。 ① 期 間：9 ～2 月 ② 参 加 者 数： 2,716 名	☆ 最終 予算 額 28,066 執行 率 99.5% 不用 額 146

3 事業の効果/課題

(1) おきなわ国際協力人材育成事業

効果：国際協力の現場の視察や、現地でのホームステイ等での交流を通して、グローバルな視点を持ち国際協力に対する興味や意識が高い若い人材の育成に寄与した。

出前講座参加者へのアンケート調査の結果、国際協力を必要と感じた生徒の割合が約91%と高い数値になった。

課題： 派遣においては、引き続き、事前研修・事後研修の中で、国際協力を身近に捉えることができるようプログラムを組む必要がある。また、出前講座においては、受講者の関心度や規模等に合わせて内容を工夫する必要がある。

派遣に関しては、JICAや関係機関と連携し、外務省の渡航情報等海外の安全情報等の把握に努めるとともに、派遣国決定後も、現地の最新の情勢を踏まえて臨機応変に対応することも必要である。

出前講座に関しては、応募がない学校などへの情報発信を強化するとともに、学校へのアプローチを積極的に行う必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：ウチナーネットワークの継承・発展、国際協力の推進

重点施策事業名：次世代ウチナーネットワーク育成事業（継続）

事業期間：昭和44年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

- ・海外への情報発信や歴史継承等、次世代へウチナーネットワークを安定的に継承するため、コンシェルジュ機能を強化する。
- ・子弟留学生受入れや、国内外と県内の若者同士の交流を促進し、ウチナーネットワークを担う次世代の人材を育成する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
次世代ウチナーネットワーク育成事業	71,392		69,067		最終予算額 71,392 執行率 96.7% 不用額 2,325
	11,829	1 ウチナージュニアスタディー事業 ・海外県系人子弟と県内外の中高生を対象に1週間の日程で沖縄の自然や文化、歴史等の体験学習を実施する。	15,102	1 ウチナージュニアスタディー事業 ・県系子弟が対面で、県内中高生と交流することができた。 海外参加者11名 県内・国内参加者18名	最終予算額 15,225 不用額 123
	45,569	2 ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 ・ウチナーネットワークコンシェルジュ運営 ・留学生受入業務 沖縄県出身移住者子弟及びアジア諸国等海外留学生の受入：10名以内	41,924	2 ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 ・ウチナーネットワークコンシェルジュ運營業務 来場者1,123名 相談件数206件 (国内131件、海外75件) ・留学生受入業務 沖縄県出身移住者子弟8名 アジア諸国等海外留学生2名	最終予算額 43,103 不用額 1,179

	8,400	3 友愛交流構築事業 ・【兵庫県】本県と兵庫県の青年が11月に沖縄県で、2月に兵庫県で相互交流を行う。参加人数はそれぞれ15名程度。 ・【福島県】1月に福島県の雪だるま親善大使（小学生）を受け入れ、2月に本県からさとうきび親善大使（小学生）を福島県に派遣する。	4,899	3 友愛交流構築事業 ・【兵庫県】11月に沖縄県で自然体験や歴史を学ぶプログラムを実施し、2月に兵庫県で雪体験や災害・防災を学ぶプログラムを実施し、本プログラム通じて相互の交流を深めた。（本県からの参加者：11月11名、2月12名） ・【福島県】沖縄福島両県の小学生が相互の県を訪問し、学校訪問や三役表敬等の交流プログラムを通じて両県の交流を深めた。	最終予算額 5,400 不用額 501
	5,594	4 その他、事務費	7,142	4 その他、事務費	最終予算額 7,664 不用額 522

3 事業の効果/課題

(1) ウチナージュニアスタディー事業

効果： 沖縄県の海外移住者子弟を本県に招待し、県内の同世代の青少年と生活を共にしながら沖縄の歴史や文化等を学ぶことにより、県外移住者子弟の母県・沖縄への理解と絆を深めるとともに世界のウチナーネットワークを担う次世代の人材育成につながることを期待できる。実際、本事業のOBOGの中には、事業実施期間の一時的な交流にとどまらず、継続的かつ多面的な交流につながっているケースもあり、ウチナーネットワークの継承・発展に寄与している。

課題： 県内外参加者については自己推薦及び個人応募となったため、幅広く周知できる方法を検討する必要がある。また、海外参加者については、県人会の規模に関わらず大小様々な県人会から参加を促すことによってウチナーネットワークの拡充を図る。また、本事業へのOBOGの協力体制をより工夫することで、主体的なウチナーネットワーク継承に繋がるよう働きかけを行う必要がある。

(2) ウチナーネットワーク継承基盤構築事業

効果： 世界に約42万人いるといわれる県系人を中心とした世界のウチナーネットワークを安定的に継承することで、文化、経済、観光等も含めた多面的な交流の促進につながることを期待できる。実際、子弟等留学生のOBOGの中には、各国の県人会等で中心的な役割を担っている者や、琉舞教室や三線工房等を開設している者などもおり、ウチナーネットワークの継承・発展に寄与している。

課題： 海外では県系人の世代交代が進み、沖縄への関心や郷土への愛着が薄れていることが懸念されている。県内においても、本県が移民県であり、かつて困難な時代に海外県系人に支援された歴史があるということが十分県民に伝わっていない現状もあり、次世代へ安定的にウチナーネットワークが継承されるかが課題である。

(3) 友愛交流構築事業

効果： 兵庫県とは青年交流、福島県とは児童交流を行っており、互いの県が持つ文化や歴史等を同世代間で一緒に学ぶことで、参加者同士の交流が深まるだけでなく、相互理解の促進が期待できる。特に、兵庫県との交流事業においては定期的に連絡をとっているOBOGがいることや、毎年キャンプ期間中にOBOGも参加する場面があるなど、事業実施時だけの一時の交流とならず、長く交流が続いている。

課題： 両県との事業はどちらも互いの県に対する理解を深めることだけでなく、次世代の育成も目的としているが、特に兵庫県との交流事業では参加者が定員に満たない現状があり、若者世代への認知度の向上が課題である。現時点ではSNSなどを活用した広報活動も行っているが、広報活動と並行して、若者が参加したいと思えるようなプログラム内容に変更していくなどの取組が必要である。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：ウチナーネットワークの継承・発展、国際協力の推進

重点施策事業名：ウチナーネットワーク次世代継承キャラバン事業（新規）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

第7回世界のウチナーンチュ大会の成果を踏まえ、次世代にウチナーネットワークを継承していくため、海外で活躍する県系人の功績をたたえるとともに、海外県人会へ慰労訪問し、現地のニーズや要望を聴取し、今後の取組に繋げる。加えて、次世代を担う若者ウチナーンチュ等と経済面も含めた交流を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
ウチナー ネットワ ーク次世 代継承キ ャラバン 事業	61,662	1 ウチナーネット ワーク次世代 継承キャラバン 事業	50,606	1 ウチナーネット ワーク次世代 継承キャラバン 事業 ・南米（ブラジ ル）、北米（カナ ダ・米国）、アジ ア（フィリピン、 シンガポール）に てキャラバンを実 施した。	最終予算額 61,662 執行率 82.1% 不用額 11,056

3 事業の効果/課題

(1) ウチナーネットワーク次世代継承キャラバン事業

効果： 本事業を通じて、世界のウチナーンチュとウチナーネットワークの意義を再確認するとともに日常的な交流やネットワーク発展に繋げるきっかけとなった。

課題： 概ね5年に1度で開催している「世界のウチナーンチュ大会」だけでなく、日常的に繋がれる機会（場）を創出していく必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：ウチナーネットワークの継承・発展、国際協力の推進

重点施策事業名：多文化共生推進調査事業（継続）

事業期間：平成26年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

1 事業の目的・内容

在住外国人が安全して暮らせる多文化共生型社会を構築するため、県民の意識啓発等を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
多文化共生推進調査事業	6,397	1 多文化共生推進調査事業 ・「おきなわ多文化共生推進指針」の施策例に基づき、市町村でモデル事業を実施し、その成果や課題・手法等を広く共有することで、市町村が多文化共生に関連した取組を実施しやすい環境を整える。	4,072	1 多文化共生推進調査事業 ・沖縄県多文化共生事業においてモデル地域となった市町村及び多文化共生の取組を実施している市町村に対し、シンポジウムの開催を行った。 ・在住外国人を支援している団体に対し、ワークショップ形式のヒアリング調査を行うことで、実態の把握に努め、多文化共生社会の地域づくりを推進した。	最終予算額 6,397 執行率 63.7% 不用額 2,325

3 事業の効果/課題

(1) 多文化共生推進調査事業

効果： 令和5年度に実態調査を行うことによって、今後の多文化共生社会の地域づくりを推進するための体制が整備された。

課題： 令和2年度の「多文化共生推進調査」により、在住外国人や市町村の取組について現状把握を行ったところ、約6割の市町村で多文化共生施策の推進への取組を行っていないことが明らかとなったことから、引き続きモデル事業の実施や、各種啓発等に努め、市町村等の取組を促進していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：医療の充実・健康福祉社会の実現

重点施策事業名：旅行者専用発熱等相談支援事業（継続）

事業期間：令和3年度～令和5年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

旅行者専用相談センター沖縄（TACO）による旅行者のための健康相談窓口の設置を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
旅行者専用発熱等 相談支援 事業	18,389	1 旅行者専用発熱等相談支援事業 ・旅行者専用相談センター沖縄（TACO）を設置し、健康相談等を行う。	17,133	1 旅行者専用発熱等相談支援事業 ・旅行者専用相談センター沖縄（TACO）を設置し、健康相談等を行った。	最終予算額 18,389 執行率 93.2% 不用額 1,256

3 事業の効果/課題

(1) 旅行者専用発熱等相談支援事業

効果：旅行者専用相談センター沖縄（TACO）の設置により、旅ナカにおける旅行者からの健康相談（体調不良時の相談、新型コロナウイルス感染症感染時の対応等）に対して、看護師からの助言等の対応をすることで、安全・安心な沖縄観光の形成に繋がったものと考えられる。

課題：新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことや水際措置の解除に伴い、インバウンド需要にも対応した受入体制の整備に取り組む必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：離島・過疎地域の持続可能な地域づくり

重点施策事業名：離島観光活性化促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和6年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

離島観光振興を図るため、国内チャーター便支援やプロモーション等を行い、離島誘客を促進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
離島観光 活性化促 進事業	117,431	1 離島観光活性化促進事業	115,298	1 離島観光活性化促進事業	☆ 最終予算額 117,431 執行率 98.2% 不用額 2,133
	4,800	(1) 離島航空路開設 ・チャーター便支援	3,028	(1) 離島航空路開設 ・チャーター便支援 実施件数：19件	最終予算額 4,039 不用額 1,011
	54,383	(2) 離島観光プロモーション ・離島観光の全般的な魅力の発信や航空会社と連携した離島情報のプロモーション等	55,144	(2) 離島観光プロモーション ・Webや新聞、テレビ等各種媒体を活用し、多方面から離島路線の認知度向上及び旅行先としての魅力を訴求し、離島への来訪促進を図った。 (Webサイト「沖縄しまさんぽ」PV数及びInstagramインプレッション	最終予算額 55,144 不用額 0

	56,363	(3)離島観光基盤強化 ・主要離島地域 (八重山・宮古・久米島)観光協会が主体となった地域プロモーション	55,467	数：3,508,879) (3)離島観光基盤強化 ・八重山・宮古・久米島観光協会が主体となり、離島観光の旬な情報発信、県外イベント等において離島魅力のPRを実施した。 (プロモーション実施数：計36件)	最終予算額 56,363 不用額 896
	1,885	(4)事務費(旅費)	1,659	(4)事務費(旅費)	最終予算額 1,885 不用額 226

3 事業の効果/課題

(1) 離島観光活性化促進事業

効果： 離島への観光客誘致を促進するため、離島へのチャーター便及び定期便の就航促進や離島観光プロモーション、離島観光基盤強化等を実施。観光客を本島のみならず離島へ周遊させることにより、滞在日数の延伸促進及び一人当たりの観光消費額の増加に繋げる。

課題： 航空会社との連携プロモーションやメディア等を活用したプロモーションを強化することにより、更なる離島観光誘客促進を図る必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（継続）

事業期間：令和3年度～令和5年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

「琉球歴史文化の日」についての関連イベント等を通じて県民への周知啓発を推進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球歴史 文化の日 周知啓発 推進事業	17,752	1 琉球歴史文化 の日周知啓発推 進事業 ・琉球歴史文化の 日とその趣旨につ いて普及・啓発す るための広報活動 と、県民が沖縄の 歴史と文化への理 解を深めるための 関連事業を実施す る。	17,752	1 琉球歴史文化 の日周知啓発推 進事業 ・琉球歴史文化の 日とその趣旨につ いて普及・啓発す るための広報活動 と、県民が沖縄の 歴史と文化への理 解を深めるための 関連事業を実施し た。	最終予算額 17,752 執行率 100%

3 事業の効果/課題

(1) 琉球歴史文化の日周知啓発推進事業

効果：先人たちが創り上げてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を自らの手で創造することが図られた。

課題：琉球歴史文化の日（11月1日）を周知し、沖縄の歴史と文化に対する県民の認知度を向上させるため、引き続き、各市町村等と連携した取組を行う必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：しまくとぅばアーカイブ事業（継続）

事業期間：令和4年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課（しまくとぅば普及推進室）

1 事業の目的・内容

沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承するため、しまくとぅばのアーカイブ化の取組を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまくとぅばアーカイブ事業	22,232	1 しまくとぅばアーカイブ事業 ・各地域ごとの文法的事項が織り込まれた文法調査票の収集 ・文法調査票と連動した教材の作成 ・教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録 ・自然談話の収録	16,496	1 しまくとぅばアーカイブ事業 ・文法調査票44地域の収集を行った。 ・教材ひな形（小学校低学年）1セットの作成を行った。 ・教科書掲載の歌、文学的文章50地域の収録を行った。 ・自然談話2話の収録を行った。	☆ 最終予算額 22,232 執行率 74.2% 不用額 5,736

3 事業の効果/課題

(1) しまくとぅばアーカイブ事業

効果： 文法調査票の収集数、教科書掲載の曲数等、委託事業の仕様で求めた成果を全て達成し、音声資料や映像資料等が十分でない地域のしまくとぅばアーカイブ化の取組を行った。

課題： 調査対象地域によっては、予定していた地域の話者が高齢で対応が困難で、一部地域を変更して実施した地点もある。

そのため、地域の話者が減少しつつある現状の中で、いかに県、受託先の琉球大学、調査対象地域の話者と綿密な連携を取りながら、迅速な調査を行えるかが課題となっている。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：しまくとうば普及継承事業（継続）

事業期間：平成 26 年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 文化振興課（しまくとうば普及推進室）

1 事業の目的・内容

沖縄文化の基層である「しまくとうば」を普及継承するため、県民大会の開催や、平成 29 年度に設置した「しまくとうば普及センター」を中心とした各地域の普及人材育成等を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和 5 年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまくとうば普及継承事業	74,197	<p>1 しまくとうば普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民大会を開催する。 ・ しまくとうば読本を作成し、県内小中学生へ配布する。 ・ しまくとうばの普及活動を行う民間団体に対し、補助金を交付する。 ・ 県内で人材養成講座を開催する。 	72,062	<p>1 しまくとうば普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民大会第一部、県民大会第二部、関連イベント及び動画配信の実施を通じて気運醸成を行った。 ・ 県内の小学校 268 校、中学校 149 校、特別支援学校 17 校へしまくとうば読本（PDF 版）配布を行った。 ・ しまくとうば普及活動を行う民間団体に対して、合計 8 件、7,409 千円の補助金を交付した。 ・ しまくとうば講師養成講座を開催。 <p>合格者数 八重山上級：16 名 宮古初級：21 名 合 計：37 名</p>	<p>☆ 最終予算額 74,197 執行率 97.1% 不用額 2,135</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・しまくとうば普及センターの運営を行う。 ・しまくとうば県民意識調査を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県文化協会へしまくとうば普及センターの運営を委託し、各地域におけるしまくとうば普及継承活動や県民運動を推進した。 ・しまくとうばに関する実態を把握し、しまくとうばの普及における今後の課題と効果的な普及方法の検討に向けた調査を実施した。 	
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

3 事業の効果/課題

(1) しまくとうば普及継承事業

効果： 幅広い世代へ「しまくとうば」に触れる機会を提供することで、「しまくとうば」普及の気運醸成を図った。

しまくとうば普及センターを中心に、市町村や地域の団体が行うしまくとうば講座への支援等を行った。

課題： 令和5年度のしまくとうば県民意識調査結果によると、県民の「しまくとうばの使用頻度」が減少しているため、各地域の普及団体等と連携し、人材養成等の取組、しまくとうばの普及に取り組む団体への支援など、普及に向けた取組を引き続き実施していく。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：沖縄県文化振興事業等推進費（継続）

事業期間：平成26年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

（公財）沖縄県文化振興会が実施する伝統芸能公演支援事業やおきなわ文学賞等の文化振興事業に要する経費について補助を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄県文化振興事業等推進費	54,577	1 沖縄県文化振興事業等推進費・（公財）沖縄県文化振興会の文化振興事業等に要する経費に対し補助を行う。	51,969	1 沖縄県文化振興事業等推進費・（公財）沖縄県文化振興会が実施する伝統芸能公演支援事業やおきなわ文学賞等の文化振興事業に要する経費について補助を行った。	最終予算額 54,577 執行率 95.2% 不用額 2,608

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄県文化振興事業等推進費

効果： 補助を通じ、沖縄県文化振興会が行う文化事業が円滑に実施されることにより、文化、芸術、学術の普及、情報の提供、調査研究、交流等を図り、沖縄県民の主体的、創造的な文化活動の支援が行われた。

課題： 引き続き、同会の事業費等に対し補助を行い、沖縄県民の主体的、創造的な文化活動の持続的発展を推進する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：沖縄食文化保存普及継承事業

事業期間：令和4年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画（沖縄食文化創生プロジェクト）第2期計画」に基づき、琉球料理を基盤とする沖縄の伝統的な食文化を保存するための担い手を育成し、同時に、伝統的な食文化の形成された過程や魅力等をわかりやすく情報発信し、県民や観光客への普及・継承を推進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄食文化保存普及継承事業	20,997	1 沖縄食文化保存普及継承事業・沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承に向け、琉球料理伝承人の育成及び出前講座モデル事業、「琉球料理が味わえる店」店舗認証の実施等を行う。	19,688	1 沖縄食文化保存普及継承事業・沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承に向け、琉球料理伝承人の育成及び出前講座モデル事業、「琉球料理が味わえる店」店舗認証の実施等を行った。	☆ 最終予算額 20,997 執行率 93.8% 不用額 1,309

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄食文化保存普及継承事業

効果： 琉球料理伝承人の育成及び出前講座モデル事業について、琉球料理伝承人175名（累計）に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、県内地域住民、食関連業界団体等、修学旅行関係者、学校関係者及び県外沖縄関連事業者向けにそれぞれ各1回、合計5回出前講座を実施した。また、「琉球料理が味わえる店」として12件の店舗認証を行った。

課題： 引き続き、若い世代を含む県民、観光客に向け、沖縄の伝統的な食文化について普及促進を図り、認知度向上へ繋げる必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業(継続)

事業期間：令和4年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組について事業実施者への支援(補助)や、琉球の歴史文化を活用し、文化の産業化に向けた取組をPRする講演会等を開催する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球歴史 文化コン 텐츠創 出支援事 業	42,668	1 琉球歴史文化 コンテンツ創出 支援事業 ・新たな産業の創 出に向け、文化芸 術団体等が、文化 資源を活用し様々 な産業分野と連携 する取組を行う。 ・文化資源を活用 し様々な産業分野 と連携する文化芸 術団体に対して補 助金を交付する。	39,920	1 琉球歴史文化 コンテンツ創出 支援事業 ・新たな産業の創 出に向け、文化芸 術団体等が、文化 資源を活用し様々 な産業分野と連携 する取組を行っ た。 ・文化資源を活用 し様々な産業分野 と連携する文化芸 術団体に対して補 助金を10団体に 交付した。	☆ 最終予算額 42,668 執行率 93.5% 不用額 2,748

3 事業の効果/課題

(1) 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

効果： 県内の文化芸術団体等を対象として、歴史文化コンテンツを制作する取組10件を採択し、支援した。これらの支援により、本県の文化芸術の産業化や文化芸術に係るビジネスを支える環境整備が図られた。

課題： 本県には優れた文化資源があり地域振興の資源として大きな可能性を秘めている。これらの資源の活用を図るため、引き続き、文化芸術の産業化に資する取組を支援する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：沖縄文化芸術の創造発信支援事業（継続）

事業期間：令和4年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術等の文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図るため、文化専門人材の目利きのもと、県内文化芸術団体等による取組を公募、審査、採択し、支援を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄文化 芸術の創 造発信支 援事業	80,709	1 沖縄文化芸術 の創造発信支 援事業 ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公 募、審査、採択 し、支援を行う。	73,874	1 沖縄文化芸術 の創造発信支 援事業 ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公 募、審査、採択 し、支援を行っ た。	☆ 最終予算額 80,709 執行率 91.5% 不用額 6,835

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄文化芸術の創造発信支援事業

効果： 県内の文化関係団体等を対象として①文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取組5件、②文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取組8件、③文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取組8件の合計21件を採択し支援した。これらの支援により、本県の伝統芸能や文化芸術といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展が図られた。

課題： 引き続き、関係団体等と意見交換を行いながら、文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を推進する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）

事業期間：平成27年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 文化振興課（博物館・美術館）

1 事業の目的・内容

琉球王国時代から残る文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積するとともに、王国時代にあった手わざを現代の最高水準の手わざで復元を行う。また、これらの模造復元品を通して、世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球王国 文化遺産 集積・再 興事業	18,352	1 琉球王国文化遺産集積・再興事業 ・琉球王国時代の文化遺産に関する有識者からなる監修者会議等を開催し、模造復元の対象選定及び関連資料の調査、復元品製作に向けた実施設計を行う。	18,172	1 琉球王国文化遺産集積・再興事業 ・琉球王国時代の文化遺産に関する有識者からなる監修者会議等を開催し、模造復元の対象選定及び関連資料の調査(35点)を行うとともに、復元品製作に向けた実施設計を行った。	☆ 最終予算額 18,352 執行率 99.0% 不用額 180

3 事業の効果/課題

(1) 琉球王国文化遺産集積・再興事業

効果： 監修者会議等による有識者からの意見等を反映して復元対象資料及び関連資料の調査を8分野35点実施したことをはじめ、本事業の調査研究・取組内容に関する報告会を実施すること等により、琉球王国文化の周知・手わざの魅力の発信の取組を推進することができた。

課題： 8分野35点の復元製作を行うに当たり、技術や道具・材料を解明するための科学分析や試作を行う必要がある。また、模造復元の製作工程等を広く紹介する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：沖縄県空手振興事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手を保存・継承・発展させるため、「沖縄空手振興ビジョン」及び同「ロードマップ」に基づいた施策を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄県空 手振興事 業	115,402	1 沖縄県空手振興事業	111,094	1 沖縄県空手振興事業	☆ 最終予算額 115,402 執行率 96.3% 不用額 4,308
	10,000	(1)沖縄空手流派指導体制構築事業 ・審判講習会の開催、セミナープログラム制作	9,623	(1)沖縄空手流派指導体制構築事業 ・審判講習会の開催、セミナープログラム制作	最終予算額 10,000 不用額 377
	12,000	(2)沖縄空手イベント開催事業 ・空手の日奉納演武、記念演武祭の開催	12,000	(2)沖縄空手イベント開催事業 ・空手の日奉納演武、記念演武祭の開催	最終予算額 12,000 不用額 0
	15,716	(3)沖縄空手指導者派遣事業 ・国内外への空手家の派遣	15,716	(3)沖縄空手指導者派遣事業 ・国内外への空手家の派遣	最終予算額 15,716 不用額 0
	10,164	(4)沖縄空手県内普及促進事業 ・空手指導者を県内各地に派遣	8,507	(4)沖縄空手県内普及促進事業 ・空手指導者を県内各地に派遣	最終予算額 10,164 不用額 1,657

11,545	(5) 沖縄空手案内センター事業 ・ 沖縄空手案内センターの設置	11,545	(5) 沖縄空手案内センター事業 ・ 沖縄空手案内センターの設置	最終予算額 11,545 不用額 0
7,301	(6) 沖縄空手普及・啓発事業 ・ 国内外の媒体を活用した空手の広報等	7,301	(6) 沖縄空手普及・啓発事業 ・ 国内のイベントへ参加し沖縄空手の周知を実施	最終予算額 7,301 不用額 0
10,200	(7) 沖縄空手会館ミュージアム事業 ・ 沖縄空手の資料収集・調査研究 ・ 企画展・巡回展の実施	10,200	(7) 沖縄空手会館ミュージアム事業 ・ 沖縄空手の資料収集・調査研究 ・ 企画展・巡回展の実施	最終予算額 10,200 不用額 0
12,090	(8) 聖地・沖縄空手ガイド養成事業 ・ 沖縄空手専門のガイドの養成	12,088	(8) 聖地・沖縄空手ガイド養成事業 ・ 沖縄空手専門のガイドの養成	最終予算額 12,090 不用額 2
11,440	(9) 沖縄空手次世代道場継承事業 ・ 沖縄空手の継承プログラム制作	11,201	(9) 沖縄空手次世代道場継承事業 ・ 沖縄空手の継承プログラム制作	最終予算額 11,440 不用額 239
5,000	(10) 沖縄空手産業連携構築支援事業 ・ ライセンスビジネス等調査検討、商標登録 ・ 一般向け映像コンテンツ制作	3,686	(10) 沖縄空手産業連携構築支援事業 ・ 沖縄空手オリジナルキャラクター制作、商標登録等 ・ 修学旅行向け映像コンテンツ制作	最終予算額 5,000 不用額 1,314
9,946	(11) 沖縄県空手振興事業におけるその他事務費	9,227	(11) 沖縄県空手振興事業におけるその他事務費	最終予算額 9,946 不用額 719

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄県空手振興事業

効果： 空手の日奉納演武及び記念演武祭を開催するとともに、県内の小中学校や保育園等に空手指導者を派遣するなど、沖縄空手の普及・啓発に取

り組んだ。

また、沖縄空手会館企画展及び巡回展を開催し、「空手発祥の地・沖縄」の発信力の強化を図った。

その他、審判講習会の実施や沖縄空手継承プログラムの制作等に
取り組み、空手指導者の育成を図った。

課題： 県外での「空手発祥の地・沖縄」の認知度向上が課題となっているため、今後は、拡散能力の高いSNSを活用する等、効果的な周知方法を検討する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：沖縄空手世界大会開催事業（継続）

事業期間：平成 29 年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、次世代を担う空手愛好家を対象とした世界大会を開催し、後継者の育成、国内外における参加者間の交流及び「空手発祥の地・沖縄」で平和の武である沖縄空手の歴史・精神性を学ぶ機会を創出する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和 5 年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 世界大会 開催事業	38,640	1 沖縄空手少年 少女世界大会開 催事業 ・ 第 2 回沖縄空手 少年少女世界大会 の開催に向けた準 備を行う。	37,661	1 沖縄空手少年 少女世界大会開 催事業 ・ 第 2 回沖縄空手 少年少女世界大会 の開催に向けた準 備を行った。	☆ 最終予算額 38,640 執行率 97.5% 不用額 979

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄空手世界大会開催事業

効果： 令和 6 年 8 月に開催予定の第 2 回沖縄空手少年少女世界大会の開催に向けて、事務局体制を構築し、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を開催した。

課題： 沖縄空手を保存・継承し将来にわたっての振興を図るため、引き続き世界大会を定期開催していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：沖縄空手ユネスコ登録推進事業（継続）

事業期間：令和元年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手を次世代に正しく保存・継承するとともに、「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信するため、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・研究及び県民等の気運醸成に向けた取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 ユネスコ 登録推進 事業	12,249	1 沖縄空手ユネスコ登録推進事業 ・関係機関で構成する協議会を設置し、登録に必要な調査・研究を行うとともに、県民等の気運醸成に向けた取組を実施する。	11,109	1 沖縄空手ユネスコ登録推進事業 ・関係機関で構成する協議会を設置し、空手が祭礼行事など地域の生活文化に取り入れられている実態を把握するための民俗学的調査を実施した。 ・県民等の気運醸成に向けたシンポジウムを実施した。	最終予算額 12,249 執行率 90.7% 不用額 1,140

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業

効果： 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の着実な推進が図られた。

課題： 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録の実現を図るため、引き続き、民俗学的調査を実施し、当該調査を取りまとめ、関係省庁への提供を行う必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展

重点施策事業名：空手ツーリズム受入体制構築事業（新規）

事業期間：令和5年度～令和7年度

部課等名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

空手を文化観光資源として活用した空手ツーリズムを推進し、国内外の空手愛好家や観光客の受入体制構築に取り組む。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
空手ツーリズム受入体制構築事業	22,150	1 空手ツーリズム受入体制構築事業 ・空手ツーリズム専用窓口の開設 ・沖縄空手ガイドの利用促進に係る取組の実施 ・沖縄空手を活用した旅行商品の造成支援	17,215	1 空手ツーリズム受入体制構築事業 ・空手ツーリズム専用窓口（空手ツーリズムウェブサイト）の開設 ・沖縄空手ガイドの実態調査及び旅行会社等へのコーディネート ・沖縄空手を活用した旅行商品の造成支援	最終予算額 22,169 執行率 77.7% 不用額 4,954

3 事業の効果/課題

(1) 空手ツーリズム受入体制構築事業

効果： 空手ツーリズム専用ホームページを制作したことにより、観光客から空手愛好家まで、幅広い層に対応できる商品等を案内できた。また、造成した空手観光コンテンツに国内外からの観光客等が参加し、沖縄空手の普及・啓発に繋がった。

課題： 空手ツーリズムの推進のため、沖縄空手ガイドの更なる利用促進を図る必要がある。